

地域精神保健福祉コミュニティー誌

Jun. 2014

No. 199

ぱる通信

6

特集:『豊かな職業生活を応援する岡山障害者職業センターの取り組み』



豊かな職業生活を応援する 岡山障害者職業センターの取組み



職業カウンセラー

村久木 洋一(むらくき よういち)

岡山の職業センターでは3年勤務。

「岡山はA型事業所が非常に多い。
ただ、一般就労を目指していきたい！
という方もおられる。
その方の希望に沿った、様々な働き方
を提案していくのが私たちの役割。」



所長

高木 雄二(たかき ゆうじ)

以前は、徳島のセンターに3年間勤務。10年前、吉備高原リハビリテーションセンターに赴任していた経験がある。

障害者職業センターは、専門的な職業リハビリテーションを行う機関です。就職や職業生活の安定、職場復帰等に向けたサポートを行っています。今月号では、4月に新しく赴任された高木所長と、職業カウンセラーの村久木さんに岡山障害者職業センターでの実際の取組について伺いました。

スタッフの配置は？

高木 職業カウンセラーは、現在六名います。育児休業に入っているスタッフがいるので、実際は五名です。ジョブコーチは四名いて、六月から新しい方が入り五名になる予定です。

相談者の傾向は？

高木 傾向としては、年によって波がありますが、昨年度は七十九名が相談に来られています。障がい別では、発達障がいの方が増えてきています。これまで、身体障がいの方に対する支援が中心であった時代がありました。それが、知的障がい、精神障がい、そして今は発達障がいという、時代の要請に応じて職業センターの

利用者が変わってきています。一般の高校や大学を卒業した後、発達障がいの診断を受け、センターに相談に来られる方が多いです。岡山県の場合は、政令市ということもあり、岡山県、岡山市、倉敷市に発達障がい者支援センターがあり、他県に比べると、きめ細かい支援体制になっていると思います。

対象者の変化に伴い、職業評価・準備支援の在り方に変化は？

高木 職業相談の流れで、相談だけで終わる方もおられます。自身の仕事の興味・適性について知りたい、今までの働き方を振り返り深く見つめ直したい、という方には適性検査を行っています。今後の方向性を考えていくための一つの材料になると思います。皆さんに同じ内容の検査を行っている訳ではなく、その方のニーズの内容によって変わってくるし、やりたくないということであれば、その検査は行わないということもあります。



準備支援で重きを置いているところは？

高木 大昔は、労働習慣を身につけるというのが主流で、模擬会社という位置づけで、通って来て頂く支援が中心でした。その当時は、主に知的障がいの方を対象として行っていて、会社で求められることをここでやりましょう、ということが中心でした。今は、準備支援の内容に講座を取り入れています。履歴書作成の仕方や、面接での受け答えの仕方について、模擬面接というのをやっています。私も今度、七人くらい面接をさせてもらうのですが、自分では出来ていると思っていても出来ない場合もありますので、ビデオカメラで撮影して、ご自分でも確認できるようにしています。

準備支援で行われている講座で、強みや弱みなど、自分自身の特徴を知るといふ内容のものは？

高木 準備支援のプログラムの中で、自分の特徴がどうかなのか、例えばどのようなコミュニケーションがあれば間違いない作業を行なう事が出来るのか、そのようなこともフィードバックさせてもらっています。

得意なこと苦手なこと、あつて

当然ですし、得意なことは伸ばしていく事が大切だと感じています。今は精神障がい、発達障がいの方を対象とした講座もありますし、リワーク支援という、職場に戻るためのプログラムも行っています。主にうつ病などで体調を崩されている方が職場に戻る時に、こういう事が

必要なのか、センターに来て頂く中で、ストレスへの対処の仕方や、リラクゼーション法を学ぶ講座も行っています。そのような講座は、リワーク支援対象の方だけではなく、利用希望の方は、準備支援の中で利用して頂くことは可能です。

仕事探しの段階になった時の支援の内容は？

高木 ハローワークの求人はファックスで入ってきますので、その内容をアシスタント（準備支援を行うスタッフ）が見て、希望されているご本人さんに伝えることはできます。もちろん、ハローワークまでカウンセラーが同行する場合もありますし、ケース会議も行ったりしています。

センターの支援の対象となる方は？

高木 基本は働きたいという希望を持た

れている障がいのある方、障がいが者手帳の有無は問いません。

今後、就職の段階で障がいについてオープンにするのか、クローズにするのかで

手帳の必要性は変わってくると思います。ご本人がセンターを利用したいという気持ちを持たれているかどうか、職業に特化した支援を希望し、就職を希望されている方ということになります。働きたいけど上手くいかない、と感じておられる方も、もちろん含まれると思います。

すぐに仕事探しの支援をして欲しいという希望の方には？

高木 働く時間や仕事内容は、ご本人が考えておられる希望に沿って支援をさせてもらいます。ただ、主治医の先生の意見というのも大切だと思います。ハローワークの専門援助窓口での登録に、主治医の意見書が必要となってくると思いますが、主治医からはご本人の就職に対し



～高木所長のやりたいこと～

「徳島にいた時に、四国八十八か所巡りを始めました。少し遠くなりましたが、機会があれば再開したいです。」

て、もう少し待った方が良いのではないかと、と言われるようでしたら、ハローワークの窓口で仕事の紹介はしづらいという事は聞きます。

職業準備性についてどのようにお考えか？

高木 基本的に生活の部分を考えて朝起きる事が出来るかという事は、準備支援を利用しなくても会社に通わないといけない訳ですから、夜更かしをしない程度に、しっかりと睡眠をとって、疲れを残さない様にするのは必要だと思います。これは会社にとっても、今日は体調良くて明日はダメと言われると、仕事を急に他の人に頼まないといけないなんてしてしまう、事前に分かっている場合でしたら対応出来るでしょうが、日によって体調が頻繁に変化するようでしたら、課題はあると思います。



～村久木さんの好きな事～

「岡山に来て三年、今年も桃が楽しめる季節となりました。最近ではファジャーノも応援しています。」

今年度重点を置きたいところは？

しています。準備支援を受けていた方の就職率は五〇六割くらいとなっています。この中にA型事業所へ移行された方は含まれていません。中にはA型事業所に行かれた方もおられます。

高木

準備性の部分でどうしても解決できない課題があるとすると、その方はずっと働けないのか、ということもあるでしょう。ただ基本の部分で言うところ、これらの部分はしっかりと欲しいというのがあると思います。会社が求めていることは、同じスーパーでも違ってきますよね。そこにマッチングさせていくことが出来れば一番良いと思います。

ご本人が苦手としている事が、会社にとつては苦手と捉えない場合があるかもしれない。

逆の場合もあるかもしれないけど、会社によって捉え方は違いますよね。

前年度は、どのくらいの方が就職されたのか？

高木 ジョブコーチ支援の場合、仕事の定着率は九十%、前年度仕事をスタートされた方が六十三名となつ

は？
高木 平成三十年に精神障がいの方が、雇用率の算定基礎に入ってくると言われていました。そのため、企業の中で精神障がいの方が働けるように、ジョブコーチ支援に力を入れていかないといけないと思っています。現在、精神障がいの方のハローワーク利用は増え、紹介件数も増えてきています。しかし、定着率で考えると、障がいについてオープンとクローズでは、大分差があるんですよ。そういった問題をどう捉えていくのか、また、受け皿としての企業の方が誤った考えを持ってしまう場合もあるの、いかにその方の状況を知って頂いて、仕事を継続することが出来るのか、ご本人も豊かな職業生活を営めるような支援が必要だと思っています。それ以外にも難病の方、高次脳機能障がいの方など、いわゆる

就職に向けて困難性の高い方について、センターの方でサポートしていきたいと思います。

医療機関との連携は不可欠になつてくると思うが？

高木 ご本人の主治医の診察に同席する形で、カウンセラーが通院同行することはよく行っています。岡山のセンターに赴任して、回数は非常に多いと感じています。準備支援などの状況を主治医の先生にお伝えしたり、リワーク支援についてもそうですねですが、ご本人の状況を会社の方や主治医の先生にお伝えしています。そのことで、主治医の先生もより多面的に診ることが出来ますし、会社の方もご本人の状況を知ること、復職後も安心して働くことが出来ると思います。

就業・生活支援センターとの連携は？

村久木 生活面に課題のある方の支援について、私たちとしてはお願いしやすい存在であるので、岡山、津山、倉敷のセンターと連絡を取ることは多いですね。

現在、岡山県内にはどのくらいジョブコーチがいるのか？

村久木 岡山県内の一号ジョブコーチで言えば、九法人の十二名となっています。昨年度法人所属のジョブコーチが単独で行っているケースは十四〇十五件あると思います。センターのジョブコーチと一緒に動いて下さい、と依頼を受けるケースは十件くらいあると思います。新見、津山などの遠方での支援となると、その近くの法人所属のジョブコーチにお願いする事があります。

ジョブコーチの質の向上のために岡山で取り組みたいことは？

高木 ジョブコーチの研修は、一番最初に養成研修を行ないます。本部、地域での研修がそれぞれ約一週間あります。最初のスタート時は一人で支援に入らず、経験のあるジョブコーチの支援を見ながら学んでいく時期があり、その後は、スキルアップのための研修があります。研修を受けて、より多くの知識を身につけて頂くようになります。

岡山でのジョブコーチ支援の課題は？

岡山のジョブコーチの数は充足しているのか？
高木 季節的にバランスがあると思います。4月というのは、新入社員

高木 一号ジョブコーチで言うとな人内の人事異動などで、入れ替わりがある場合があります。協力して頂く九法人が皆、同じ状況ではありません。ジョブコーチ支援に力を入れて頂くとともにあれば、ジョブコーチ支援に関わる日数が限られてしまう場合もあります。また、エリア的に支援が薄くなる地域、岡山では県北の地域には、市内の支援と同じくらいジョブコーチ支援が入れるかと言えは難しいところもあります。津山のジョブコーチへの出勤回数が増える、という事もあると思います。



準備支援では、朝来るとタイムカードを押し、プログラムに参加する。職場の言葉や心構えが掲示されている。

として入っていく時期で、全国的にジョブコーチ支援の回数は多いと思います。その後は減り、秋口になると面接会などを受けた後、ジョブコーチ支援の件数が増えるということもあります。

岡山の場合、だんだんと就労移行支援事業所が減ってきているという現状があるが、就労移行支援事業所に望むことは？

高木 働くための基本的な経験を高めていくためには、就労移行支援事業所は必要だと思います。ただ、法制度の縛りがあって、Aさんが就労し、その後Bさんが新しい利用者として登録出来れば良いのですが、自転車操業的なやり繰りをしながら、運営を行っていくかという点、事業所の運営を考えると、就職者が出たのは良いが、次の新しい利用者がいないとなると、安定的な運営が出来ない。そうは言っても、2年間かけて就職を進めていかないとけない。私が以前住んでいた市では、就労移行支援事業所が八十か所くら

いありました。多くの事業所が就労移行支援事業所にシフトしていきましたが、支援メニューがこれまで通りですと、利用者が魅力を感じなくなり、利用者が来ないということがありました。その違いは発信力の違いであつたり、就労支援を進めていく支援内容の違いであると思います。**作業をただするよりも、実際実習にどんどん出ていって、その中で体験をして、働くための能力を高めていくという支援をやっているところは、希望者がとても多かったです。何か製品があり、モノ作りをしているのではなく、主力は外に置いて、色んな企業での実習先を開拓していくという事業所は、とても人気がありました。**

岡山で障害のある方の就労を進めていくには？

高木 A型事業所が増えるというのもそれなりの理由があると思います。私達は、一般就労というのを念頭に支援を行っていきますが、その支援は職業センター単独では難しいと思います。やはり、様々なご本人のニーズもありますので、関係する機関と協働して支援していくことが必要になってくると思います。精神障が

い、発達障がいの方の支援というのは、これから先も必要になってくるので、関係する機関で情報の共有をすることが必要です。個人情報の取り扱いは非常に難しいところがありますが、支援に入る時に共有しないといけないことは当然あるので、医療機関で把握しているご本人さんの状況と、職業センターで把握しているご本人さんの状況を共有する、そこにご本人が同席して頂ければ、スムーズに出来ると思います。



準備支援では、様々な作業に取り組む。写真は棚下ろし作業の品物。

投稿コーナー ☆ ☆ ☆



ぱるっひろ場



隣に君の芽を愛でながら
匿名

けして恵まれてはなかった
しいては不運だったかも知れ
ない
そんな人生の花壇にいつしか
小さな華の芽が咲いた
その芽は時に雨にうたれ
時に日溜まりに和み
ゆつくりゆつくりと
育まれていく

未来(あす)への希望

岩谷 英昭

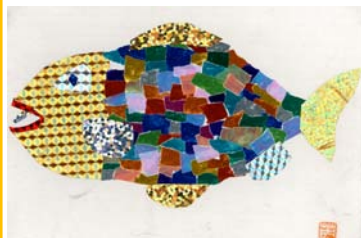
絶望と悲しみを感じた瞬間(とき)
誰もが信じられなくなってしまう
その瞬間(とき)を忘れようと
何かに夢中になるが
孤独感が強く悲しく虚しさが残る

今日(いま)を忘れてしまいたい

ひっそりと佇む夜風を身に感じ
夢を追い駆けながら
安らかに眠りにつく

未来(あす)は今日(いま)より
もっと何か新しい人やモノに出会え
ると信じて

だから今日(いま)は
何も考えずに
ただ静かに深夜は更けていく...

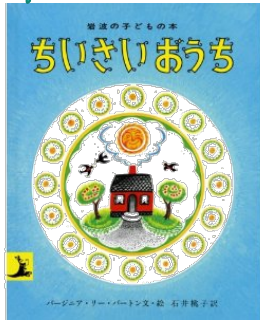


アジサイが咲いてました！
(Yさんより投稿) 梅雨に入りましたね。アジサイが綺麗です。

ぱるっこの懐かし絵本

お勧め本募集！

子どもの頃に出会って今でも心に残っている絵本。主人公は人ではなく「ちいさいおうち」。時の流れとともに周りの風景が変わっていき、おうちの気持ちが伝わってきて、とてもせつないのです。絵もとても美しく、気に入って何度も読み返していました！また読みたいです。
(岩波の子どもの本)／著者：バージニア・リー・パートン 翻訳：石井桃子
みなさんは思い出の絵本ありますか？



感想・投稿 募集中!

詩、俳句、絵、ジャンル不問です。郵便、メールfax等でご投稿 下さい♪待ってます★

古楽日和 こがくびより

(前回からの続き) インターネットは、結局はテレビや新聞といったメディアと同じ道を歩んでいる。商売でやっている以上、広告や、商売に関係するものばかりが幅を利かせている。

どのウェブサイトに行っても、ページの上下や左右にバナー広告があふれ、うっかりその広告上でクリックしてしまうと、その広告先の会社のサイトへ飛んでしまう。

バナー広告が決して悪だとはいわない。それが必要に応じて登場してきたものであることはわかっている。しかし先述したように検索をして、こうまでも店のウェブサイトをさがり検索結果に並んでしまうのを見ると、おどろきを通り越してあきれてしまう。

資本主義経済を支えているのは企業だ。そのなかでも特に資本主義経済の特徴となっているのは民間による企業だ。これらの企業は営利獲得を目的として活動をしている。つまりは製品やサービスを売って利益を出すことを目的としているのだ。

利益を出すことを目的としているため、これら企業はどうしても儲けるための手段を多く用いることになる。となると、インターネットも商売のための手段に使われることになるのだ。

こんな現在のインターネットの様子を見ると、パソコン雑誌を買って読むという行為も、まんざら捨てたものではないなと感じるのだった。商業媒体としての価値が低下した最近のパソコン雑誌は、広告のページが減っていて返って読みやすいからだ。

藤井健喜

市役所販売♪

五月三十日、六月二、三日と市役所販売へ出店してきました。市役所販売とは、福祉施設等で作られた作品やお菓子などを市役所一階ロビーにて販売できるイベントです。毎年六月と十二月に開催されます。今年は、ばるっこ手作りビーズ作品に陶芸、石鹸などを販売してきました。川崎医療福祉大学の学生もボランティアで手伝ってくれましたよ★購入してくれた方、手伝ってくれた方ありがとうございました！



ばるランチ♪

五月二八日に、ランチを開催しました★メニュー投票を行った結果「チキン南蛮タルタルソース・マカロニサラダ、みそ汁、ミックスジュースゼリー」でした！みんなで手分けして作ったランチはとっても美味しかったです！来月も開催予定です★六月四日にランチミーティングをするので、来て下さいね★メニューを決めます。

座学からコンニチワ

ジョブサポートセンター
Job Support Center Asunaro あすなろの就労プログラム

「ジョブサポートセンターあすなろ」では就労を目指す方に座学を提供し、グループで意見を交換しながら「就職」に向けてモチベーションを高めあっています。座学の一部をご紹介します。

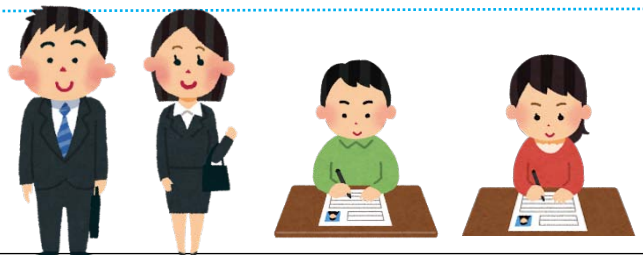


健康セミナー第2回開催！

5月28日(水)の午後、前回に引き続き栄養士の堀江さんに来ていただき「実践!!節約健康メニュー」をテーマに参加したメンバーと一緒に野菜スープを作りました！薄めに味付けしてフリージング(冷凍)しておけば色々応用も効くスグレモノ！野菜不足になりがちな毎日の食生活の強力な助っ人です。今月は6月23日(月)午前中に開催予定です。皆さんふってご参加ください！

就職合同面接会 in コンベンションセンター

5月28日(水)障がい者のための就職合同説明会に行ってきました。岡山県内の様々な企業の人事担当者と直接話ができるチャンスです。皆、緊張した面持ちで参加されていました。こういった経験を積むことで更に就労に向けてのイメージを固めていけたらと思います。スタッフは面接会前の事前準備から当日まで一緒に寄り添いサポートしています！



座学への参加には「ジョブサポートセンターあすなろ」の登録が必要になります。お問合せは086-270-2237まで

INFORMATION

6月の予定

※5月よりぱるの開所は火曜～土曜 10時～16時になりました。

6月		
8	日	
9	月	健康講座「体育館でスポーツ」13時～
10	火	パソコン講座 10時～ 陶芸 13時～15時 木下大サーカス 9時半～13時半
11	水	ぱるカフェ 10時半～ 座談会 13時半～ パソコン講座 13時～
12	木	WRAP10時～11時半 つどい 13時半～
13	金	図書館サークル 10時～12時 ボーリング大会 14時～16時 午後ぱる開所
14	土	クローバーパソコン講座 11時～ 鉄ちゃんサークル 午後
15	日	カラオケサークル 10時～12時
16	月	健康講座「エクササイズ」13時～
17	火	パソコン講座 10時～ 陶芸 13時～15時
18	水	ぱるランチ 10時～ パソコン講座 10時～
19	木	仕事 WRAP10時～11時半 女子会 14時～
20	金	絵画サークル 13時～ ソフトボール 15時～
21	土	家族会総会 13時半～
22	日	
23	月	健康講座「本気ラジオ体操」13時～
24	火	パソコン講座 10時～ 陶芸 13時～15時 クローバーミーティング 13時半～
25	水	卓球サークル 10時～パソコン講座 13時～ 木下大サーカス 12時 20分
26	木	WRAP10時～11時半 クローバーしゃべり場 13時半
27	金	ソフトボール 15時～
28	土	
29	日	
30	月	健康講座「ウォーキング」13時～
7月		
1	火	
2	水	
3	木	パソコン講座 10時～
4	金	パソコン講座 10時～
5	土	
6	日	
7	月	

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行：社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒703-8256 岡山市中区浜475-5
- 編集：ぱる・おかやま
- TEL:086-270-3322 FAX:086-273-9692
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

11日(水) -----

ぱるカフェ

お茶を飲みながら、ぱるメンバーと語り合いたいよう

時 間 10:30～
場 所 ぱる・おかやま 2階



19日(木) おしゃべり大好き女子集まれ！ 女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中、テーマを決めて女子トークに花を咲かせています。

時 間 14:00～
場 所 ぱる・おかやま 2階



10日・17日・24日(火)

陶芸教室

土を触ると癒されますよ。基礎からご指導します。独創的な自分の作品を作りましょう。

時 間 13:30～
場 所 ぱる・おかやま 1階

13日(金)

ボーリング大会

今年もやってまいりました★ボーリング大会^^
景品を用意していますのでお楽しみに！！
みんなで楽しみましょう♪参加希望の方は担当の丸橋まで連絡をお願いします。(086-270-2237)

時 間 14:00～
集 合 両備ボール（岡山市北区桑田町 13-32）

『ぱるスペースMOMO』

営業お休みのお知らせ

現在、『ぱるスペースMOMO』は、店内整備の為、お店の営業をお休みさせて頂いています。お店の再開が決まり次第、皆様にお知らせさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

MOMOスタッフ一同

<6月のピア電話相談日>

ピア電話相談とは

同じような病気の経験をしたピサポーターグループクローバーが、お電話であなたのお悩みをお聞きしています^^

(086)
270-3325

お気軽におかけ下さい！

	火	水	木	金	土
	10	11	12	13	14
AM	×	×	×	×	○
PM	○	○	×	×	×
	17	18	19	20	21
AM	×	×	×	×	○
PM	○	○	×	○	×
	24	25	26	27	28
AM	○	×	×	×	○
PM	×	○	×	○	×